

一人KY推進運動 埼玉

< 教育用資料 >

KY（危険予知）活動で安全をつかもう！ **一人KY** は自分を守る！

グループでのKY活動だけではなく作業場所において、**一人KY**を実施し、**自分の身を守るための安全確認**をすることにより、**労働災害の原因となる危険のリスクの排除、ヒューマンエラーの防止**に加え、**安全に対する意識が向上**します。



一人KY その気づきが自分を守る！

一人KY 特徴

一人KYは、作業員一人ひとりがグループKYのあと、実際の作業場所における作業行動の危険のリスクを排除、ヒューマンエラーを防止する為、現地で行うKY活動です。作業場所や内容ごとに危険性又は有害性は異なる為、その都度、現地にて一人KYを実施する事が大切となります。

一人KY の進め方

	< 実施作業 >	
	< 手 順 >	足場の組立て作業(例)
作業開始前点検	作業環境を指差呼称で点検	先行手すりの設置 ヨシ!
危険のポイント	作業工程で予測される危険を絞り出す	バランスを崩して、墜落しないか
行動目標	絞り出し、決定した危険のポイントに対し、行動目標(対策)を決める	作業をする際、必ず安全帯は使用する
ポイント呼称	行動目標を指差呼称する	安全帯のフック掛け ヨシ!

KY(危険予知)活動とは

KY(危険予知)活動は、労働災害の発生原因を先取りし、一人ひとりが危険に対する感受性や集中力、問題解決力を高める活動であり、作業員の不安全行動による労働災害の防止に欠かせないものです。KY活動には、グループで行う「グループKY」や健康状態について問いかける「健康KY」、作業員一人ひとりが現地で行う「一人KY」があります。

